

教科(科目)	国語(国語総合)	単位数	5単位	学年(系列)	1学年(必履修)
教科書	新編国語総合(数研出版)	副教材	教科書準拠ワーク、漢字ボックス・最新国語便覧(浜島書店)		
履修条件	特になし				

1 学習目標 / 2 指導の重点

国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や創造力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと
ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えを持ち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。 イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。 ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場を尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。 エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。 イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容や叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。

A～Cの指導を通して以下の〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について指導する

ア 伝統的な言語文化に関する事項 イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 ウ 漢字に関する事項

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
前期	現代文 随想(一)	・石田衣良「正解は一つのクラスルーム」	・知識、理解を深め、基本的な漢字の読み書きの能力を習得する。	8	定期考査、実力テスト、課題・提出物、授業への参加姿勢	
	小説(一)	・三浦哲郎「とんかつ」	・ものの見方、感じ方を深める。	12		
	評論(一)	・中村明「語幹トレーニング」	・文章の内容を叙述に即して読み取り、作者の主張を的確に捉える。	10		
	小説(二)	・芥川龍之介「羅生門」	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	13		
	古典 古文入門	古文に親しもう ・「児のそら寝」	・我が国の伝統的な言語文化に親しむ。 ・歴史的仮名遣いとその読み方を習得する。	10		
	随筆 漢文入門	・「検非違使忠明」	・物語を味わい、口語訳を通して鑑賞する。	12		
	随筆 漢文入門	・漢文の海へ／訓読のきまり／格言	・訓読のきまりや基本的句法を理解する。 ・格言や故事成語の意味と由来を知る。	10		
後期	随筆 故事を楽しむ	・「助長」「漁夫の利」		11		
	現代文 評論(三)	・山崎正和「水の東西」	・ものの見方、感じ方を深める。	11		定期考査、実力テスト、課題・提出物、授業への参加姿勢
	小説(三)	・井上ひさし「ナイン」	・知識、理解を深め、漢字の読み書きの能力を習得する。	13		
	評論(三)	・佐藤信夫「コインは円形か」	・論理の構成や展開に気をつけ、作者の主張を捉える。	12		
	小説(四)	・志賀直哉「清兵衛と瓢箪」	・文章の表現の特色に注意し、描かれた人物、情景、心情などを読み味わう。	13		
	古典 随筆	・『徒然草』『高名の木登り』	・我が国の伝統的な言語文化に親しむ。 ・用言の基本事項とその活用について理解する。	10		
	歌物語	・『伊勢物語』『茶川』	・古文単語や基礎的文法の事項に留意し、物語の筋をつかんで口語訳する。	10		
軍記物語 史伝を読む	・『平家物語』『木曾の最期』	・漢詩の規則や基本的句法について理解する。	12			
唐詩を味わう	・「虎の威を借る狐」「春曉」	・文学の知識を深める。	8			

計 175 時間 (50 分授業)

4 評価規準

- ・関心・意欲・態度・・・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
- ・話す・聞く能力・・・目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
- ・書く能力・・・相手や目的、意図に応じた的確な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
- ・読む能力・・・文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
- ・知識・理解・・・伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

5 備考

- ・国語総合(現)(現代文、3時間)と国語総合(古)(古文・漢文、2時間)に分割して実施する。
- ・国語総合(古)は、各クラス2展開の少人数指導を実施する。

教科(科目)	国語(現代文B)	単位数	2単位	学年(系列)	2学年
教科書	新編現代文B(東京書籍)	副教材	教科書準拠学習課題ノート・国語必携ライトパーフェクト演習(尚文出版)・最新国語便覧(浜島書店)		
履修条件 特になし					

1 学習目標	2 指導の重点
近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。	<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p> <p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p> <p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p> <p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>

3 指導計画					
学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	随想	村田沙耶香「こそめスープ」	・基本的語彙や文学史の知識を身につける。 ・評論の読み方・考え方を習得する。	7	定期考査、小テスト、課題 ・提出物、授業態度や学習活動への参加姿勢
	小説1	井上ひさし「ナイン」	・論理の構成や展開に気をつけて、筆者の主張を的確にとらえる。	7	
	評論1	長沼毅「生命とは何か」	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に則して読み取り、小説を読む楽しみを体感する。	7	
	詩歌	吉野弘「I was born」	・小説表現の面白さ、豊かさを学び、読書習慣への意欲につなげる。	7	
後期	小説2	井伏鱒二「山椒魚」	・詩的感性、世界観をとらえ、詩人の信条を理解する。	7	定期考査、小テスト、課題 ・提出物、授業態度や学習活動への参加姿勢
	評論2	鷺田清一「思考の肺活量」	・基本的語彙や文学史の知識を身につける。 ・評論の読み方・考え方を習得する。	7	
	小説3	夏目漱石「こころ」	・論理の構成や展開に気をつけて、筆者の主張を的確にとらえる。	14	
	働くよこび	小関智弘「楽に働くこと、楽しく働くこと」	・文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に則して読み取り、小説を読む楽しみを体感する。	7	
	詩歌	信濃路【短歌】	・小説表現の面白さ、豊かさを学び、読書習慣への意欲につなげる。 ・我が国の伝統的な言語文化に親しみ、鑑賞を深める。	7	

4 評価規準	計70時間(50分授業)
<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度…… 国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 ・話す・聞く能力…… 目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。 ・書く能力…… 必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。 ・読む能力…… 近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させていこうとしている。 ・知識・理解…… 言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。 	

5 備考	特記事項なし
------	--------

教科(科目)	国語(現代文B)	単位数	2単位	学年(系列)	3学年(系列)
教科書	新編現代文B(東京書籍)	副教材	教科書準拠学習課題ノート、国語必携パーフェクト演習(三訂版)(尚文出版)、最新国語便覧(浜島書店)		
履修条件	必修				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。</p>	<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。 イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。 ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。 エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。 オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	評論1	茂木健一郎「最初のペンギン」	<ul style="list-style-type: none"> 基本的語彙や文学史の知識を身につける。 評論の読み方・考え方を習得する。 論理の構成や展開に気をつけて、筆者の主張を的確にとらえる。 	8	定期考査、小テスト、課題 ・提出物、授業態度や学習活動への参加姿勢
	小説1	中島敦「山月記」	<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に則して読み取り、小説を読む楽しみを体感する。 小説表現の面白さ、豊かさを学び、読書習慣への意欲につなげる。 	11	
	随想	小池昌代「カフェの開店準備」	<ul style="list-style-type: none"> 小説表現の面白さ、豊かさを学び、読書習慣への意欲につなげる。 	8	
	詩歌	宮澤賢治「永訣の朝」	<ul style="list-style-type: none"> 詩的感性、世界観をとらえ、詩人の信条を理解する。 	8	
後期	評論2	今井むつみ「言葉は世界を切り分ける」	<ul style="list-style-type: none"> 基本的語彙や文学史の知識を身につける。 評論の読み方・考え方を習得する。 論理の構成や展開に気をつけて、筆者の主張を的確にとらえる。 	9	定期考査、小テスト、課題 ・提出物、授業態度や学習活動への参加姿勢
	小説2	太宰治「靴」	<ul style="list-style-type: none"> 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に則して読み取り、小説を読む楽しみを体感する。 小説表現の面白さ、豊かさを学び、読書習慣への意欲につなげる。 	9	
	評論3	山崎正和「未来のありか」	<ul style="list-style-type: none"> 小説表現の面白さ、豊かさを学び、読書習慣への意欲につなげる。 	9	
	詩歌	俳句	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統的な言語文化に親しみ、鑑賞を深める。 	8	

4 評価規準

計70時間(50分授業)

- ・関心・意欲・態度…… 国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
- ・話す・聞く能力…… 目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
- ・書く能力…… 必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させていこうとしている。
- ・読む能力…… 近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させていこうとしている。
- ・知識・理解…… 言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

5 備考

- ・2年次の「現代文B」で使用した教科書・準拠ワークを継続して使用する。【Ⅱ部】の教材を主として取り上げる。
- ・副教材を用いた小テストを定期的に行う。

教科(科目)	地理歴史(世界史A)	単位数	2単位	学年(系列)	1学年(必履修)
教科書	高等学校 改訂版 世界史A (第一学習社)	副教材	改訂版世界史Aノート、ダイアログ世界史図表新版 (第一学習社)		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国日本の歴史と関連づけながら理解する。 世界の一体化に注目するとともに、地図や写真を活用して主体的に学ぶ力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の課題を多角的に考察することによって歴史的思考を培う。 ・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 ・中学校からの関連性なども考慮し、授業を実施する。 ・視聴覚教材やインターネットなども活用した調べ学習を取り入れ、情報をまとめて発表する場も取り入れたい。
---	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	第1編 世界史への いざない	「音の世界史」等の視聴覚教材	①自然環境と歴史	5	定期考査 課題(提出物) 授業態度 出席状況 小テスト
			②日本列島のなかの世界の歴史	10	
	第2編 世界との 一体化と日本		①ユーラシアの諸文明 ・東アジア ・南アジア ・西アジア ・ヨーロッパ ・アフリカ ・アメリカ ・ユーラシアの海と陸の交流	7	
			②結びつく世界と近世の日本	6	
		③ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	6		
		④アジア諸国の変貌と近代の日本	6		
後期	第3編 地球社会と 日本	「映像の世紀」等の視聴覚教材	①帝国主義の時代	5	定期考査 課題(提出物) 授業態度 出席状況 小テスト
			②急変する人類社会	5	
			③世界戦争と平和	5	
			④三つの世界と日本の動向	5	
			⑤地球社会への歩みと課題	5	
			⑥持続可能な社会への展望	5	

4 評価規準

計70時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度・・・授業を意欲的に取り組み、世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 ・思考・判断・表現・・・日本の歴史と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 ・資料活用の技能・・・歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し読み取ったり、図表などにまとめたりすることができる。 ・知識・理解・・・主として定期考査や課題プリントで世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
--

5 備考

2年次の選択世界史Bでは、世界史Aの学習を踏まえ、帝国主義時代以降の学習内容を深めていく。

教科（科目）	地理歴史（日本史A）	単位数	2単位	学年(系列)	2学年(必履修)
教科書	高等学校 改訂版 日本史A 人・くらし・未来（第一学習社）	副教材	日本史のアーカイブ（とうほう） 改訂版日本史Aノート（第一学習社）		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

近現代史を中心とする我が国の歴史を、世界史的視野で国際環境などと関連付けて考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活文化や地域社会にかかわる主題を設定し学習する。 ・近代社会の成立と発展の過程を、国際環境などとの関連に留意し考察する。
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	第1部	教科書 資料集 ワーク ノート プリント 視聴覚教材 など	私たちの時代	2	定期考査 課題（提出物） 授業態度 出席状況 小テスト
	第2部		第1節 近代への胎動 第2節 明治維新 第3節 近代国家の確立 第4節 対外関係の変化 第5節 政党政治の展開	5	
	第1章			5	
	近代国家の形成と 国際関係の推移			5	
				4	
				4	
第2章	第1節 近代産業の発展と社会運動の展開 第2節 国民生活の変化と文化	5 5			
後期	第3部	教科書 資料集 ワーク ノート プリント 視聴覚教材 など	第3節 第一次世界大戦と日本	10	定期考査 課題（提出物） 授業態度 出席状況 小テスト
	第1章		第4節 第二次世界大戦と日本	10	
	現代の日本と世界		第1節 日本の再出発 第2節 独立後の政治と対外関係	5	
	第2章			5	
	現代日本の国民生活			5	
	活			第1節 経済の発展と国民生活の変化	

4 評価規準

計70時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心・意欲・態度…授業に積極的に参加し、近現代の歴史的事象と現在との結びつきを意欲的に調べ、考え、意欲的にそれらを探究する態度を身につけようと努力している。 ・ 思考・判断・表現…近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。 ・ 資料活用の技能…歴史に関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 ・ 知識・理解…定期考査や課題プリントなどを中心に、我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的事柄を理解し、その知識を身につけている。
--

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業と併行して、佐渡島の歴史についても学習を深めてもらいたい。

教科 (科目)	公民 (現代社会)	単位数	2単位	学年(系列)	3学年 (必履修)
教科書	高等学校 改訂版 新現代社会 (第一学習社)	副教材	新編テーマ別資料 現代社会 (とうほう) 改訂版 新現代社会ノート (第一学習社)		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的問題について主体的に考察し公正に判断する力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境破壊、エネルギー問題など現代社会の課題を理解させる。 ・大衆社会・高齢社会・高度情報社会など現代社会の特質を理解させる。 ・現代政治のしくみを理解させ、課題を解決しようとする心構えを育てる。
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	私たちの生きる社会	現代社会資料集	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖化・砂漠化などの地球環境の破壊や資源・エネルギー問題など現代社会の課題を理解させる。 	8	課題 小テスト 定期テスト ノート提出 新聞切抜き
	現代の社会と人間としてのあり方生き方		<ul style="list-style-type: none"> ・大衆社会・高齢社会・高度情報社会など現代社会の特質を理解させる。 ・青年期の課題を理解させ、前向きに解決を図る態度を育てる。 ・資本主義経済のしくみと問題点を理解させ、課題を解決しようとする態度を養う。 	17 5 5	
	現代の民主政治と私たちの生活 国際政治の動向と日本の役割		<ul style="list-style-type: none"> ・現代政治のしくみを理解させ、課題を解決しようとする心構えを育てる。 ・選挙制度はどのようなしくみか、また、どのような課題があるのかを理解させる。 ・政治に参加する方法にはどのようなものがあるか考えさせる。 ・国際社会の変遷の歴史を理解させる。 ・国際法の特徴を国内法との比較により明らかにする。 ・国連の役割と限界を明らかにし、現代の国際社会が当面する課題を解決しようとする態度を養う。 	8 5 5 5 5 7	

4 評価規準

計70時間(50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度・・・授業を意欲的に取り組み、現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高めて、人間としての生き方を追求しようとしている。 ・思考・判断・表現・・・社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について、多面的・多角的に考察し、様々な立場や考えを踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現できる。 ・資料活用の技能・・・現代社会の基本的問題と人間に関わる諸資料を収集し、有用な情報を選択し読み取ったり、図表などにまとめたりすることができる。 ・知識・理解・・・主として定期考査や課題プリントで、現代社会と人間についての基本的な事柄や学び方を理解して、その知識を身につけている。
--

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を活用した授業や新聞切り抜き (スクラップ) 課題を夏休み・冬休みに課して評価に加える。

教科 (科目)	数学 (数学 I)	単位数	3 単位	学年 (系列)	1 学年 (必履修)
教科書	数学 I Standard (東京書籍)	副教材	Standard Buddy STAGE 数学 I + A (東京書籍)		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p>	<p>・数と式、2次関数、図形と計量、データの分析の基本的な考え方を理解し、基礎的な知識と技能を活用できるようにする。 ・数学的な見方や考え方のよさを理解し、活用できるようにする。</p>
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	数と式	・ Standard Buddy STAGE 数学 I + A・授業プリント	1節 式の計算 ①整数 ②整式の加法・減法・乗法 ③因数分解	10	・定期考査 ・実力テスト ・授業への取り組み ・ノート, 課題提出
			2節 実数 ①実数 ②根号を含む式の計算	10	
			3節 1次不等式 ①不等式の性質 ②1次不等式 ③1次不等式の応用 課題学習 (教科書P4~5)	10	
	集合と論証	1節 集合	5		
後期	2次関数	・ Standard Buddy STAGE 数学 I + A・授業プリント	2節 命題と論証 ①命題と条件 ②論証	8	
			1節 2次関数とそのグラフ ①関数 ②2次関数 ③2次関数の最大・最小 ④2次関数の決定 課題学習 (教科書P62~63)	10	
			2次関数	2節 2次方程式と2次不等式 ①2次方程式 ②2次関数のグラフとx軸の共有点 ③2次不等式 ④2次不等式の応用	10
	後期	図形と計量	・ Standard Buddy STAGE 数学 I + A・授業プリント	1節 鋭角の三角比 ①直角三角形と三角比 ②直角三角形の辺と比 ③三角比の相互関係	10
2節 三角比の拡張 ①三角比と座標 ②三角比の性質				10	
3節 三角形への応用 ①正弦定理 ②余弦定理 ③三角形の面積 ④空間図形の計量 課題学習 (教科書P104~105)				10	
データの分析		・ Standard Buddy STAGE 数学 I + A・授業プリント	1節 データの整理と分析 ①データの整理 ②データの代表値 ③データのちらばり	6	
	2節 データの相関 ① 相関 ②相関係数 課題学習 (教科書P138~139)		6		

4 評価規準

計 105 時間 (50 分授業)

<ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度・・・習得した知識や技能を活用し、探究しようとしている。数学的論拠に基づいて判断している。 ・数学的な見方や考え方・・・課題を多様な単元や分野と関連させ、総合的に事象を捉え、多面的に考察している。 ・数学的な技能・・・数学的課題を既習事項や定義、公式等を用いて的確に表現し、筋道を立てて考察することができる。 ・知識・理解・・・数学における概念や原理・法則、用語や記号などを体系的に理解している。
--

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・すべての生徒が学習する科目です。 ・「数学 I」→「数学 II」→「数学 III」と続く科目で、最も基礎になる科目です。
--

教科(科目)	数学(数学A)	単位数	2単位	学年(系列)	1学年
教科書	数学A Standard (東京書籍)	副教材	Standard Buddy STAGE 数学I+A (東京書籍)		
履修条件	「数学I」と平行してあるいは「数学I」を履修した後に履修すること				

1 学習目標

2 指導の重点

場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。	・場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらの事象の考察に活用できるようにする。 ・整数の性質についての理解を深め、活用できるようにする。
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	・場合の数と確率	Standard Buddy STAGE 数学I+A	1節 集合と場合の数 ①集合と要素の数 ②数え上げの原則 ③順列 ④組み合わせ	20	・定期考査 ・授業への取り組み ・出欠席 ・ノート, 課題提出
			2節 確率とその基本性質 ①事象と確率 ②確率の基本性質 課題学習	12 3	
後期	・場合の数と確率	Standard Buddy STAGE 数学I+A	3節 いろいろな確率 ①独立な試行の確率 ②反復試行の確率 ③条件付き確率	10	・定期考査 ・授業への取り組み ・出欠席 ・ノート, 課題提出
			1節 約数と倍数 ①約数と倍数, 素因数分解 ②最大公倍数と最小公約数	6	
	2節 ユークリッド互除法と不定方程式 ①除法の性質と整数の分類 ②ユークリッド互除法 ③不定方程式		6		
	3節 整数の性質の活用 ① 記数法 ②小数と分数 課題学習		8 5		

4 評価規準

計70時間(50分授業)

・関心・意欲・態度・・・学んだ性質の考え方に興味を持つとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断できる。 ・数学的な見方や考え方・・・事象を数学的に考察・表現したり、思考の過程を考えることを通して数学的な見方や考え方を身につけている。 ・数学的な技能・・・事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技術を身につけている。 ・知識・理解・・・基本的な概念、原理・原則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身につけている。

5 備考

・「数学II」「数学B」を学習するときに基礎となる内容です。

教科 (科目)	理科 (科学と人間生活)	単位数	2単位	学年(系列)	1学年 (必履修)
教科書	科学と人間生活 新訂版 (実教出版)	副教材	科学と人間生活 新訂版 演習ノート (実教出版)		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>自然と人間生活とのかかわりを及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関わる観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・科学の基本的事項、用語の定着を図る。 ・科学的な見方や考え方を養う。
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	1. 科学と技術の発展	上記教科書及び副教材等	1 科学と技術の始まり	3	授業態度
	2. 物質の科学		2 生物学と医療 3 科学の魅力	3 6	発問評価 ノート提出
後期	3. 生命の科学	上記教科書及び副教材等	1 節 材料とその再利用	12	実験報告書
	4. 光や熱の科学		2 節 食品と医療	12	
	5. 宇宙や地球の科学		1 節 生物と光	12	授業態度
			2 節 微生物とその利用	12	発問評価
		1 節 光の性質とその利用	6	ノート提出	
		1 節 身近な天体と太陽系における地球	4	実験報告書	
				6	小テスト

計70時間 (50分授業)

4 評価規準

「関心・意欲・態度」…	身近な事物・現象に関心や探究心を身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につけている。
「思考・判断・表現」…	身近な事物・現象の中に問題を見だし、観察、実験、調査などを行うとともに、これからの科学と人間生活との関わり方について科学的・論理的に思考し、判断している。
「観察・実験の技能」…	身近な事物・現象に関する観察・実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探求する方法を身につけ、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現している。
「知識・理解」…	科学技術の発展の人間生活への貢献。身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解している。

以上の観点により、出席状況、授業ノート・プリント、課題・実験レポート提出状況・内容、授業態度授業時発問への解答、各考査問題実験レポート、ビデオ・課題レポートの内容小テスト、各考査をもって総合的に判断する。

5 備考

特記事項なし

教科(科目)	理科(化学基礎)	単位数	3単位	学年(系列)	2学年(必履修)
教科書	高等学校 改訂新化学基礎 (第一学習社)	副教材	ネオパルノート化学基礎(第一学習社) ニューステージ 新化学図表(浜島書店)		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>・化学的な事物・現象についての観察・実験などを通し、自然に対する関心や探求心を高め、化学的に探求する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理、法則を理解させ、科学的自然観を育てる。</p>	<p>・化学の基本的な概念の形成を図る。 ・化学的に探求する方法の習得を目指す。 ・上記により科学的な思考力・判断力・表現力を育成する。</p>
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法		
前期	序章 化学と人間生活	上記教科書及び副教材等	①人間生活の中の化学	1	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト		
	第I章 物質の構成		②金属	1			
			③プラスチック	1			
			④化学とその役割				
			⑤化学の拓く未来				
			第1節 物質とその構成要素			3	
			①物質の分離(1)				2
			②物質の分離(2)				2
			③物質を構成する元素				3
			④元素の確認				3
			⑤物質の三態				3
⑥原子のなりたち	2						
⑦同位体とその利用	4						
⑧原子の電子配置	2						
⑨元素の周期律と周期表	3						
第2節 化学結合		3					
①イオン(1)		3					
②イオン(2)		3					
③イオン結合		2					
④イオンからできる物質		3					
⑤共有結合(1)		4					
⑥共有結合(2)		2					
⑦分子の極性		2					
⑧分子からできる物質(1)		2					
⑨分子からできる物質(2)		2					
⑩共有結合の結晶	2						
⑪金属結合と金属結晶	2						
後期	第II章 物質の変化	上記教科書及び副教材等	第1節 物質量と化学反応式	2 4 2 3 2	授業態度 発問評価 ノート提出 実験報告書 小テスト		
後期	物質の変化		①原子量				
			②分子量・式量				
			③物質量と粒子の数				
			④物質量と質量				
		⑤物質量と気体の体積					

		⑥溶解と濃度	3	
		⑦化学反応式(1)	2	
		⑧化学反応式(2)	3	
		⑨化学反応の量的関係(1)	2	
		⑩化学反応の量的関係(2)	2	
		第2節 酸・塩基とその反応		
		①酸と塩基	2	
		②酸・塩基の強弱と分類	1	
		③水素イオン濃度と pH	3	
		④pH の測定	2	
		⑤中和と塩	2	
		⑥中和の量的関係	2	
		⑦中和滴定と pH の変化	2	
		第3節 酸化還元反応		
		① 酸化と還元	2	
		② 酸化数	3	
		③ 酸化剤と還元剤	1	
		④ 金属のイオン化傾向	2	
		⑤ 酸化還元反応の利用	1	
		⑥ 電池	1	
		⑦ 電気分解	1	

計 105 時間 (50 分授業)

4 評価規準

- 「関心・意欲・態度」… 自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
- 「思考・判断・表現」… 自然の事物・現象の中に問題を見出し、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。
- 「観察・実験の技能」… 学習課題に対して観察・実験や調査を計画・実施し、結果にもとづいて総合的に考察することができる。
- 「知識・理解」… 学習課題についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

5 備考

特記事項なし

教科(科目)	保健体育 (体育)	単位数	3単位	学年(系列)	1学年 (系列)
教科書	現代高等保健体育 (大修館)	副教材	現代高等保健体育ノート		
履修条件	なし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>運動についての理解と実践を通して、親しみながら運動をする習慣を育て、体力の向上を図る。また、規律規範を守ることを通して、社会的な態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各運動の基本的技能を身につける。 ・年間を通じての基礎トレーニングにより、体力の向上を図る。 ・規律規範を守る。
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	オリエンテーション		体育の心得や年間の内容を理解する。	1	
	体づくり運動 スポーツテスト		色々な体の動きを通して、自分の体の使い方を学習する。 握力・上体起こし・長座体前屈・シャトルラン・ 50M・立ち幅跳び・ボール投げの計測。	4 4	授業の取り組み 計測タイム 技能テスト 計測記録
	陸上競技 器械運動	各種教具・教材	短距離走：100M 段階に応じた練習及び計測。 マット運動：前転から倒立前転までの段階に応じた指導。	5	
	バレーボール		パス、サーブ、スパイクなどの基本的技能を習得させる。	12	
	バスケットボール		パス、ドリブル、シュートなどの基本的技能を習得させる。	12	
バドミントン	サーブ、ハイクリア、スマッシュなどの基本的技能を習得させる。		12		
後 期	体づくり運動 陸上競技 器械運動	各種教具・教材	色々な体の動きを通して、自分の体の使い方を学習する。 持久走を行う。 マット運動：前転から倒立前転までの段階に応じた指導。 パス、サーブ、スパイクなどの基本的技能を習得させる。	4 15 12	計測タイム 技能テスト 授業の取り組み
	バレーボール		前期と同じ		
	バスケットボール		前期と同じ	12	
	バドミントン		前期と同じ		
	体育理論		スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。	6	
	体づくり運動 選択Ⅰ		日常的に取り組みる運動を学習する。 陸上競技(走)：自己の記録を向上するための技能を高め、記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことができるようする。 球技(バスケットボール)：習得した個人的技能を活用して、作戦を立ててゲームができるようにする。 球技(バレーボール)：習得した個人的技能を活用して、作戦を立ててゲームができるようにする。 球技(バドミントン)：習得した個人的技能を活用して、作戦を立ててゲームができるようにする。 球技(卓球)：フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法やサービス、レシーブなどの基本技術を習得する。	4 14	

4 評価規準

計105時間 (50分授業)

<p>評価は次の観点で行います。</p> <p>【関心・意欲・態度】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身につけるとともに、健康・安全に留意して自ら運動をしようとする。</p> <p>【思考・判断・表現】 生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。</p> <p>【運動の技能】 運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、</p>
--

【知識・理解】

表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。
選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

以上の観点を踏まえ、授業の取り組み（授業態度や学習活動への参加状況）などから総合的に判断します。

5 備考

--

教科(科目)	保健体育 (体育)	単位数	2単位	学年(系列)	2学年 (系列)
教科書	現代高等保健体育 (大修館)	副教材	現代高等保健体育ノート		
履修条件	なし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>運動についての理解と実践を通して、親しみながら運動をする習慣を育て、体力の向上を図る。また、規律規範を守ることを通して、社会的な態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各運動の基本的技能を身につける。 年間を通じての基礎トレーニングにより、体力の向上を図る。 規律規範を守る。
--	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	オリエンテーション	各種教具・教材	体育の心得や年間の内容を理解する。	1	授業の取り組み 計測タイム 技能テスト 計測記録
	体づくり運動		色々な体の動きを通して、自分の体の使い方を学習する。 握力・上体起こし・長座体前屈・シャトルラン・	4	
	スポーツテスト		50M・立ち幅跳び・ボール投げの計測。	3	
	陸上競技		長距離走：段階に応じた練習及び計測 短距離走：100M 段階に応じた練習及び計測。	8	
	バレーボール		パス、サーブ、スパイクなどの基本的技能をゲームの中で活かせる力を身につける。	9	
卓球	色々な打ち方、サービス、スマッシュなどの基本的技能をゲームの中で活かせる能力を身につける。				
後期	体づくり運動	各種教具・教材	色々な体の動きを通して、自分の体の使い方を学習する。	3	計測タイム 技能テスト 授業の取り組み
	陸上競技		長距離走：段階に応じた練習及び計測	10	
	バスケットボール		パス、ドリブル、シュートなどの基本的技能をゲームの中で活かせる力を身につける。	8	
	バレーボール		前期と同じ	8	
	卓球		前期と同じ		
	体育理論		運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。	6	
選択 I	陸上競技(走)：自己の記録を向上するための技能を高め、記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことができるようする。 球技(バスケットボール)：1～2学年時に習得した個人的技能を活用して、作戦を立てゲームができるようにする。 球技(バレーボール)：1～2学年時に習得した個人的技能を活用して、作戦を立てゲームができるようにする。 球技(バドミントン)：習得した個人的技能を活用して、作戦を立てゲームができるようにする。 球技(卓球)：フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法やサービス、レシーブなどの基本技術を習得する。	10			

4 評価規準

計70時間 (50分授業)

<p>評価は次の観点で行います。</p> <p>【関心・意欲・態度】運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身につけるとともに、健康・安全に留意して自ら運動しようとする。</p> <p>【思考・判断・表現】生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。</p>

- 【運動の技能】** 運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身につけている。
- 【知識・理解】** 選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

以上の観点を踏まえ、授業の取り組み（授業態度や学習活動への参加状況）などから総合的に判断します。

5 備考

--

教科(科目)	保健体育 (体育)	単位数	2 単位	学年(系列)	3 学年 (系列)
教科書	現代高等保健体育 (大修館)	副教材	現代高等保健体育ノート		
履修条件	なし				

1 学習目標

2 指導の重点

運動についての理解と実践を通して、親しみながら運動をする習慣を育て、体力の向上を図る。また、規律規範を守ることを通して、社会的な態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 各運動の基本的技能を身につける。 年間を通じての基礎トレーニングにより、体力の向上を図る。 規律規範を守る。
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	オリエンテーション 体づくり運動 スポーツテスト	各種教具・教材	体育の心得や年間の内容を理解する。 色々なトレーニングを通して次種目への準備をする。 握力・上体起こし・長座体前屈・シャトルラン・ 50M・立ち幅跳び・ボール投げの計測。	1 8 4	授業の取り組み 計測タイム 技能テスト 計測記録
	陸上競技 選択 I		短距離走：100M 段階に応じた練習及び計測。 陸上競技(走)：自己の記録を向上するための技能を高め、記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことができるようする。 球技(バスケットボール)：1~2 学年時に習得した個人的技能を活用して、作戦を立てゲームができるようにする。 球技(バレーボール)：1~2 学年時に習得した個人的技能を活用して、作戦を立てゲームができるようにする。 球技(バドミントン)：1~2 学年時に習得した個人的技能を活用して、作戦を立てゲームができるようにする。 球技(卓球)：フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法やサービス、レシーブなどの基本技術を習得する。	5 15	
後期	陸上競技	各種教具・教材	陸上競技(走)：自己の記録を向上するための技能を高め、記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことができるようする。	15	外周タイム 技能テスト 授業の取り組み
	体育理論 選択 II		豊かなスポーツライフの設計を学習し、将来の自分に活かせるようにする。 球技(バスケットボール)：1~2 学年時に習得した個人的技能を活用して、作戦を立てゲームができるようにする。 球技(バレーボール)：1~2 学年時に習得した個人的技能を活用して、作戦を立てゲームができるようにする。 球技(バドミントン)：1~2 学年時に習得した個人的技能を活用して、作戦を立てゲームができるようにする。 球技(卓球)：フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法やサービス、レシーブなどの基本技術を習得する。 陸上競技(走)：自己の記録を向上するための技能を高め、記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことができるようする。	6 16	

4 評価規準

計70時間 (50分授業)

<p>評価は次の観点で行います。</p> <p>【関心・意欲・態度】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身につけるとともに、健康・安全に留意して自ら運動しようとする。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。</p> <p>【運動の技能】 自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけている。</p> <p>【知識・理解】 社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め</p>

方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。

以上の観点を踏まえ、授業の取り組み（授業態度や学習活動への参加状況）などから総合的に判断します。

5 備考

教科(科目)	保健体育 (保健)	単位数	1 単位	学年(系列)	1 学年 (系列)
教科書	現代高等保健体育 (大修館)	副教材	現代高等保健体育ノート		
履修条件	なし				

1 学習目標

2 指導の重点

個人及び社会生活における健康・安全について理解し、生涯において健康を管理し、実践していくための発展的学習内容を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の健康課題についての理解を深める。 生涯を通じての健康に対して、また社会生活と健康との関わりについての理解を深める。
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	私たちの健康のすがた	教科書 学習 ノート	わが国における健康水準の変化, 健康問題の変化について理解する。	1	期末考査 出欠状況 学習態度 提出物
	健康のとらえ方		健康についての多様な考え方, 健康の成り立ちとそれにかかわる要因について理解する。	1	
	健康と意志決定・行動選択		意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因, 健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫について理解する。	1	
	健康に関する環境づくり		健康づくりを支える環境, ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについて理解する。	1	
	生活習慣病とその予防		生活習慣病について呼称の由来や病例を説明することができ, また, 生活習慣病の予防について理解する。	2	
	食事と健康		健康的な食生活の重要性と意義, 健康的な食生活習慣の形成について理解する。	1	
	運動と健康		健康からみた運動の意義, 健康づくりのための運動習慣の形成について理解する。	1	
	休養・睡眠と健康		健康からみた休養・睡眠の意義, 健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方について理解する。	1	
	喫煙と健康		喫煙の健康影響, 喫煙開始の要因と依存性, 日本や世界のたばこ対策について理解する。	2	
	飲酒と健康		飲酒による健康への短期的および長期的影響, 飲酒の開始要因と社会問題, 飲酒による健康被害を防ぐさまざまな対策について理解する。	2	
	薬物乱用と健康		薬物乱用や薬物依存による健康への悪影響, 薬物乱用の開始要因と社会問題, 薬物乱用による健康被害を防ぐためのさまざまな対策について理解する。	2	
	現代の感染症		感染症は, 時代や地域によって, 社会環境や自然環境の影響を受け, 発生や流行に違いがみられることを理解する。	1	
	感染症の予防		感染症予防の原則や感染症予防のための社会的な取り組みと, 個人がおこなう対策について理解する。	1	
	性感染症・エイズとその予防		性感染症・エイズについて理解するとともに, 予防するための個人・社会がおこなう対策についても理解する。	1	

後 期	欲求と適応機制	教科書 学習 ノート	精神機能が主として大脳で統一的、調和的に営まれていること、また人間にはさまざまな欲求があること、欲求不満に対処するための適応機制について理解する。	2	期末考査 出欠状況 学習態度 提出物
	心身の相関とストレス		心身相関のしくみとストレスの原因、ストレスの影響と心の健康について理解し、説明する。	2	
	ストレスへの対処		ストレスへのさまざまな対処方法について理解する。	2	
	心の健康と自己実現		自己実現と心の健康との関係、自己実現の道筋と達成について理解する。	2	
	交通事故の現状と要因		交通事故の現状とその要因について理解する。	1	
	交通社会における 運転者の資質と責任		安全な運転のための資質、交通事故を起こした場合の責任と補償について理解する。	1	
	安全な交通社会づくり		安全な交通社会づくりのための法的な整備と施設・設備の充実、車の安全性の向上について理解する。	1	
	応急手当の意義と その基本		応急手当の意義やその手順について理解する。	2	
	心肺蘇生法		心肺蘇生法の原理と意義、心肺蘇生法の各手順について理解する。	2	
日常的な応急手当	日常的なけがの応急手当、熱中症の応急手当について理解する。	2			

4 評価規準

計35時間(50分授業)

評価は次の観点で行います。

【関心・意欲・態度】 現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。

【思考・判断・表現】 現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。

【知識・理解】 現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

以上の観点を踏まえ、授業の取り組み(授業態度や学習活動への参加状況)、前後期に行われる定期考査による理解度、学習到達度の評価、課題の提出状況などから総合的に判断します。

5 備考

教科(科目)	保健体育 (保健)	単位数	1 単位	学年(系列)	2 学年 (系列)
教科書	現代高等保健体育 (大修館)	副教材	なし		
履修条件	なし				

1 学習目標

2 指導の重点

個人及び社会生活における健康・安全について理解し、生涯において健康を管理し、実践していくための発展的学習内容を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の健康課題についての理解を深める。 生涯を通じての健康に対して、また社会生活と健康との関わりについての理解を深める。
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前 期	思春期における心身の発達と健康	教科書	思春期における心身の変化, および健康課題について理解する。	3	期末考査 出欠状況 学習態度 提出物
	性意識と性行動の選択		性意識の男女差, 性に関する情報が性行動の選択に影響を及ぼすことについて理解する。	2	
	健康な結婚生活		心身の発達と結婚生活の関係, 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動について理解する。	2	
	妊娠・出産と健康		妊娠・出産の過程における健康課題, 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解する。	2	
	家族計画と人工妊娠中絶		家族計画の意義と適切な避妊法, 人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解する。	2	
	加齢にともなう心身の変化と健康		加齢にともなう心身の変化, 中高年期を健やかに過ごすための個人でできる取り組みについて理解する。	2	
	高齢者のための社会的とりくみ		高齢者の健康課題とその社会的な支援, すべての人が健康で安全に暮らすための社会的取り組みについて理解する。	1	
	わが国の保健・医療制度		保健行政の役割, 保健サービスや保健情報の活用について理解する。	2	
地域の保健・医療機関の活用	健康づくりのためのさまざまな活動, 民間機関や国際機関などの保健活動について理解する。	1			
	大気汚染と健康		大気汚染の原因とその健康影響, 大気にかかわる地球規模の環境問題について理解する。	2	
	水質汚濁と健康		水質汚濁の原因とその健康影響, 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかわりについて理解する。	2	

後	土壌汚染と健康	教科書	土壌汚染の原因とその健康影響, 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染のかかわりについて理解する。	2	期末考査 出欠状況 学習態度 提出物
期	広がる環境汚染		環境汚染を防ぐための取り組み, 産業廃棄物の処理と健康問題について理解する。	2	
	環境衛生にかかわる活動		ごみの処理の現状とその課題, 上下水道の整備とし尿の処理について理解する。	2	
	食品保健にかかわる活動		食品表示, 食品の安全性の情報, 食中毒の防止対策, 環境の保健について理解する。	2	
	健康の保持増進のための環境と食品の保健		消費期限・賞味期限などの食品表示, 食品の安全性の情報, 食中毒の防止対策, 環境の保健について, 基礎的な事項を理解する。	2	
	職業病や労働災害と健康		労働災害および, 労働災害を防ぐための安全管理と健康管理のしくみについて理解する。	2	
	働く人の健康の保持増進		職場がおこなう健康増進対策, 余暇の意義と活用のしかたについて理解する。	2	

4 評価規準

計 35 時間 (50 分授業)

評価は次の観点で行います。

- 【関心・意欲・態度】 現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。
- 【思考・判断・表現】 現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。
- 【知識・理解】 現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

以上の観点を踏まえ、授業の取り組み（授業態度や学習活動への参加状況）、前後期に行われる定期考査による理解度、学習到達度の評価、課題の提出状況などから総合的に判断します。

5 備考

教科(科目)	芸術(音楽Ⅰ)	単位数	2単位	学年(系列)	1学年(必履修)
教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)	副教材	The Basics of Music (音楽史・楽典・ノート) (教育芸術社)		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に関する基本的な知識・技能と思考力・創造性を身につけさせることを目指す。 ・生徒一人一人の個性を生かし、学習活動を通じ、生徒相互が交流の中で豊かに体験できる場を作ることを目指す。 ・生徒の音楽性の伸長と主体的な学習態度の育成を目指す。
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	楽典Ⅰ	TheBasicsof Music教科書	音名・音部記号など復習し、楽曲上で応用する。 楽典テスト	3	ノート確認 確認テスト
	ヴォイス トレーニング	ウォーミングアップ(呼吸・姿勢)	呼吸法、共鳴、口形など発声の基本を学習する。 ビデオ鑑賞(発声のしくみ)	2	授業の取り組み ノート確認
	「校歌」	「校歌」	「校歌」の実技発表	2	実技
	歌おうⅠ	「花」	歌うことの楽しさを感じさせる。	3	授業の取組・実技
	歌曲を歌おうⅠ	「caro mio ben」	イタリア語の発音・楽曲理解、視唱力の向上を図る。	3	授業の取組・実技
	器楽Ⅰ	リコーダーⅠ	アルトリコーダーで運指確認・表現・技術を学習する。	5	授業の取組・実技
	合唱の楽しみ	「ふるさと」 「さくら」	歌うことの楽しさとハーモニーを奏でる喜びを感じさせる。 合唱活動における協調的態度を育成する。	10	授業の取組・実技 感想カード
器楽Ⅱ 鑑賞Ⅰ	ギター 古代～バロック	ギター奏法・タブ譜の見方を学び旋律を弾く。 作品を通して自分の考えを深める。	4 3	授業の取組・実技 授業の取組・確認テスト	
後期	器楽Ⅲ	ギター	コードを見て弾き語りをする	5	単元確認テスト
	歌曲を歌うⅡ	[Heidenröslein]	ドイツ語の発音・楽曲理解、視唱力の向上を図る。	6	授業の取組・実技
	楽典Ⅱ	TheBasicsof Music	音程について学び楽曲と関連づける	3	ノート確認
	自由に作ろう	創作① 創作②	・楽曲からイメージするものを点・線などで描く ・チャンスオペレーション(偶然からの作曲)	4 4	作品提出 作品提出
	世界の音楽Ⅰ	民族音楽(鑑賞・実技)	アフリカ民謡「マライカ」スワヒリ語で歌い、打楽器伴奏でグループごとに発表する。	5	授業の取組・実技
	鑑賞Ⅱ 器楽Ⅳ	古典～近代現代 リコーダーⅡ	作品を通して自分の考えを深める。 音色に興味を持たせ、アンサンブルを味わわせる。	4 4	授業の取組・確認テスト 授業の取組・実技

計70時間(50分授業)

4 評価規準

<p>評価は次の4観点から行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①音楽への関心・意欲・態度・・・音楽を愛好し、音や音楽に関心をもち、意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わうことができる。 ②音楽表現の創意工夫・・・・・・感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をすることができる。 ③音楽表現の技能・・・・・・自己のイメージをもち創造的な表現をするための技能を身につけている。 ④鑑賞の能力・・・・・・多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 <p>評価は、授業の取り組み(授業態度、楽曲に対する姿勢、他者との協調性など)、実技(グループ・個人)単元確認テスト、提出物などから総合的に判断して決定する。</p>
--

5 備考

特記事項なし

教科(科目)	芸術(美術I)	単位数	2単位	学年(系列)	1学年(必履修)
教科書	美術1 (光村)	副教材	なし		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

美術の幅広い創作活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。	生涯にわたり芸術を愛好する心情と感性を高め、芸術の諸能力を伸ばす。
--	-----------------------------------

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	1 鑑賞 現代の美術		・鑑賞：現代の美術、美術文化についての理解を深める	35	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を大切にしながら意欲的・主体的に授業に取り組んでいるか。 ・よりよい表現をしようとする姿勢がみられるか。 ・感性を豊かにし、自らの意図に基づき構想し、表現を工夫できたか。
	2 絵画 デッサン 身近なものを描く 風景を描く	スケッチブック 鉛筆 アクリル絵の具、パレット、用紙、キャンバスボードなど	<ul style="list-style-type: none"> ・手自画像デッサン：自己観察、工夫、制作 ・身近なものを描く：観察、工夫、制作 ・風景を描く：観察、工夫、制作 ・文化祭作品の制作 		
後期	3 デザイン 文字とデザイン ポスターのデザイン	絵の具、用紙、パレット、筆など	<ul style="list-style-type: none"> ・文字とデザイン ・構図の検討 ・制作と展示 	35	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を大切にしながら意欲的・主体的に授業に取り組んでいるか。 ・よりよい表現をしようとする姿勢がみられるか。 ・感性を豊かにし、自らの意図に基づき構想し、表現を工夫できたか。 ・多様な表現の世界に目を向け、美術の意味を再考できたか。
	4 作品鑑賞	レポート用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞文の書き方 ・美術表現の広がり 		

計70時間(50分授業)

4 評価規準

<p>評価は次の4観点から行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①美術への関心・意欲・態度・・・・・・・・美術を愛好し、美術文化を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びをあげている。 ②発想や構想の能力・・・・・・・・感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、創造的に表現を工夫している。 ③創造的な技能・・・・・・・・創造的な美術表現をするために、必要な技術を身に付けている。 ④鑑賞の能力・・・・・・・・美術を幅広く理解し、その美しさを深くあげている。 <p>評価は、出席状況(遅刻を含む)、授業態度、作品などの提出物などから総合的に判断し決定する。</p>

5 備考

特記事項なし

教科 (科目)	芸術 (書道Ⅰ)	単位数	2単位	学年(系列)	1学年 (必履修)
教科書	書Ⅰ (教育出版)	副教材	なし		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。</p>	<p>文字を素材とした表現活動が中心。 さまざまな題材について表現のねらいをもちながら、自己表現を展開していく。 ・「漢字仮名交じりの書」 ・「漢字の書」 ・「仮名の書」</p>
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	○書の美		・書の美や芸術性について知る。 ・用具用材の種類と特徴を理解する。	3	出席状況 (遅刻を含む)
	○漢字仮名交じりの書		・漢字仮名交じりの書の美を理解する。 ・「入学した今の気持ち」を漢字仮名交じりの書で表現する。	5	
	○漢字の書 (楷書)	法帖 (中国、日本の楷書)	・楷書の特徴を理解し、基本的な用筆法を学ぶ。 ・さまざまな古典の美を理解し、表現する。	17	授業に対する関心・意欲・態度 作品、鑑賞カード等の提出物
	○漢字の書 (行書)	法帖 (中国、日本の行書)	・文化祭作品 (臨書、半切) を仕上げる。 ・古典の特徴だけでなく、作品の全体構成や落款にまで留意する。		
後期	○漢字の書 (行書)	法帖 (中国、日本の行書)	・行書の用筆・運筆を理解する。 ・蘭亭序を臨書する。 ・現代日本人作家による作品 (映像) を鑑賞する。	10	
	○漢字の書の創作	墨場必携、青墨	・楷書・行書での創作を試みる。	3	
	○篆刻	印材、印刀等	・姓名印を制作し、篆刻についての理解を深める。	8	
	○仮名の書	法帖	・仮名の成立について理解する。 ・仮名の用筆・運筆を習得し、単体や連綿について学ぶ。 ・仮名の書の学習を通して、日本の書の文化を理解する。	8	
後期	○漢字仮名交じりの書	墨場必携	・漢字と仮名を調和させるよう制作する。 ・臨書学習で得た技術や線質を生かし、紙面構成を考え、いろいろな表現を試みる。 ・個性を生かした創造的な表現を試みる。	11	授業に対する関心・意欲・態度 作品、鑑賞カード等の提出物
	○色紙作品の制作	墨場必携	・1年間のまとめとして色紙に創作する。(「漢字仮名交じりの書」「漢字の書」「仮名の書」から選択) ・文化祭作品等を鑑賞する。	5	

計70時間(50分授業)

4 評価規準

<p>①書への関心・意欲・態度・・・さまざまな書の美に関心をもっているか。意欲的に表現し、書の美を感じ取ろうとしている。</p> <p>②書表現の構想と工夫・・・それぞれの古典の特徴を捉え、表現活動に生かしているか。表現を工夫して効果的な表現をしようとしている。</p> <p>③創造的な書表現の技能・・・基本的な用筆法を習得し、目的や用途に即して、創意工夫した表現ができる。</p> <p>④鑑賞の能力・・・作品を客観的に観察し、その特質をとらえ、幅広く理解や見方を深めることができる。</p>
--

5 備考

<p>特記事項なし</p>

教科(科目)	外国語(コミュニケーション英語Ⅰ)	単位数	4単位	学年(コース)	1学年(必履修)
使用教科書	『Vivid English Communication I NEW EDITION』(桐原書店)				
副教材等	『Vivid English Communication I 本文完成ノート』(第一学習社), 『Vivid English Communication I WORK&DRILL』(桐原書店), 『WORD-MEISTER 英単語・熟語1700』(第一学習社), 『WORD-MEISTER 英単語・熟語1700 Training Note ①～③』(第一学習社), 『Listening Pilot Level 2 新訂版』(東京書籍), 『2020-2021 Watching Joyful』(浜島書店)				

1 学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な態度を育てる。

2 指導の重点

- ・語彙力や基本的な文法力の確実な習得を目指します。
- ・身近な話題についての英文を読解する力を確立させることを目指します。
- ・基本的なコミュニケーション能力の習得を目指します。
- ・言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解しようとする積極的な態度の育成を目指します。

3 学習計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	Lesson 1	現在・過去 / 助動詞(can, may, must) / 未来(will, be going to)	オリンピックの歴史と、あなた自身がオリンピックの成功のために行けること。	14	定期考査 実力テスト リスニング テスト
	Lesson 2	進行形(現在・過去) / 不定詞の3用法 / S+V+O(=that-節)	名前にまつわる興味深い話。	14	単語テスト パフォーマンス テスト 課題の提出 学習意欲
	Lesson 3	動名詞 / 現在完了形 / 受け身(現在・過去)	ブログで日本のファッションを海外に発信するシトウレイさん。	14	
	Lesson 4	比較 / S+V+O+to-不定詞 / 疑問詞+to-不定詞	速水浩平さんが開発したユニークな発電方法とは。	14	
	Lesson 5	現在分詞 / 過去分詞 / 関係代名詞(主格)	笑いが最良の薬であることが科学的に証明されている。	14	
後期	Lesson 6	関係代名詞(目的格) / It is ... (for A) to ~ / 過去完了形 / 関係代名詞 what	シンガーソングライターのアンジェラ・アキさんが送るメッセージ。	14	定期考査 実力テスト リスニング テスト
	Lesson 7	S+V(=be-動詞)+C(=that-節) / 現在完了進行形 / S+V+O(=疑問詞節) / It is+形容詞+that-節	食卓に並ぶ料理の「フードマイル」について考える。	14	単語テスト パフォーマンス テスト 課題の提出 学習意欲
	Lesson 8	関係副詞(where, when) / 関係副詞(why, how) / S+V+O+O(=that-節) / S+V+O+O(=疑問詞節)	スフィンクスを破壊しつつある「塩害」とはどのようなものか。	14	
	Lesson 9	強調構文 / S+V+O+C(=原形不定詞) / 助動詞+受け身 / S+V+O+C(=現在分詞)	東日本大震災で命を落としたALTのテイラー・アンダーソンさんの生き様。	14	
	Reading	既習事項	マララ・ユスフザイさんが国連で行ったスピーチ。	14	
					計140時間 (50分授業)

4 課題・提出物等

- ・各週の最初に単語テストがあります。範囲は別紙範囲表を参照してください。
- ・GW休み、夏季休業、冬季休業、年度末休業中の課題は別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。				
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)			(知識・理解)
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりすることができる。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができる。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読むことに親しんだりすることができる。	言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。
以上の観点を踏まえ、 ・授業の取組(授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況など) ・提出物などの内容 ・単語テスト ・定期考査、実力テスト などから、総合的に評価します。				

6 担当者からの一言

高校に入学して、新たな英語学習のスタートを切ることになります。苦手意識がある人も学び直しができるので安心して学習に取り組んでください。課題提出の締切は守りましょう。分からないことがあったらそのままにしないで、担当の先生に遠慮せずに質問してください。各種検定や外部試験などにも積極的に取り組みましょう。

教科(科目)	外国語 (コミュニケーション英語I)	単位数	4単位	学年(系列)	2学年
教科書	WORLD TREK English Communication II New Edition (桐原書店)	副教材	WORLD TREK English Communication II New Edition 学習ノート (桐原書店) WORLD TREK English Communication II New Edition Workbook (桐原書店) データベース 1700 使える英単語・熟語【3rdEdition】(桐原書店) Listening Pilot Level 2 新訂版 (東京書籍) 2020-2021 Watching Light (浜島書店)		

1 学習目標

2 指導の重点

積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力や基本的な文法力を養成する。 ・身近な話題についての英文を読解する力を養成する。 ・基本的なコミュニケーション能力を養成する。 ・言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解する。
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	Lesson 1	S+V+C, S+V+O, S+V+O+O	世界各地の風土や風習について読み、その違いや特徴を理解する。	14	定期考査 実力テスト リスニングテスト 単語テスト パフォーマンステスト 課題の提出 授業態度 学習意欲
	Lesson 2	S+V+O+C(=現在分詞)、S+V+O+C(=動詞の原形)、S+V+O+C(=過去分詞)	水族館の展示や生物についての対話を読み、そこに込められた工夫や思いについて理解する。	14	
	Lesson 3	形式主語①(to不定詞)、否定の主語、形式主語②(that節)	「ジュリエットクラブ」の活動を通して、悩みを打ち明ける人々や、悩みに答える人々の心理を読む。	14	
	Lesson 4	助動詞 may (推量)、must (強い推量)、seem+to不定詞、助動詞+完了形	ねぶた祭りについての説明を読み、その魅力や祭りに関わる人たちの思いを理解する。	14	
	Lesson 5	現在完了進行形、現在完了形の受け身、過去完了進行形	劣悪な環境で働いていた子どもたちが、音楽を学ぶことで自らの夢や希望を見いだしていく過程を読む。	14	
後期	Lesson 6	S+V(=be動詞)+C(=thatなどで始まる節)、形式目的語①(that節)、形式目的語②(to不定詞)	カーレースの世界に飛び込み、さまざまな壁を乗り越えてきた井原慶子さんの話を読んで、彼女の経歴や信条を理解する。	14	定期考査 実力テスト リスニングテスト 単語テスト パフォーマンステスト 課題の提出 授業態度 学習意欲
	Lesson 7	関係代名詞、前置詞+関係代名詞、関係副詞、関係詞の非制限用法	ハロウィーンにまつわるシンボルについての説明を読んで、この風習の起源を探る。	14	
	Lesson 8	分詞構文(現在分詞)、分詞構文(過去分詞)、完了形の分詞構文、付帯状況を表す with	ロボット研究者の古田貴之さんの人生について読み、彼の夢やロボット研究にまつわる思いを理解する。	14	
	Lesson 9	仮定法過去、wish+仮定法過去、仮定法過去完了	雪の結晶に魅せられて以来、生涯こわたって結晶を撮影し続けたベントレーの伝記を読む	14	
	Lesson 10	準否定語、さまざまな比較表現①、さまざまな比較表現②	19世紀に浮世絵がヨーロッパの人々に与えた影響について読み、日本と海外の文化の違いや関係を理解する。	14	
					計 140 時間(50 分授業)

4 評価規準

関心・意欲・態度：積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。 表現の能力：話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 理解の能力：聞いたりよんだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 言語や文化についての知識・理解：言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。
--

5 備考

ALT とのチームティーティングあり

教科 (科目)	家庭(家庭基礎)	単位数	2単位	学年(系列)	1学年
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)	副教材	最新生活ハンドブック 資料&成分表 (第一学習社)		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を学び、家庭生活の充実向上を図る能力と態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえる力を養う。 生活に必要な基礎的・基本的な知識、技術の習得を目指す。 生活課題を主体的に解決する力と創造力を養う。
--	---

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	1 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート DVD 裁縫セット 保育人形 ワークシート 	1 ホームプロジェクトと学校家庭クラブについて	1	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 ワークシート 実習作品 定期考査 レポート
	2 自分らしい人生をつくる		2 ①生涯発達の視点②青年期の課題③目標を持って生きる④人生をつくる⑤家族・家庭をみつめる⑥これからの家庭生活と社会	7	
	3 衣生活を作る		3 ①被服の役割②被服の入手と管理③これからの衣生活④布を用いた生活の知恵	8	
	4 子どもと共に育つ		4 ①子どもの育つ力を知る②親として共に育つ③子どもとの触れ合いから学ぶ④これからの保育環境	8	
	5 高齢社会を生きる		5 ①高齢期を理解する②高齢者の心身の特徴③これからの高齢社会	5	
	6 共に生きともに支える		6 ①私達の生活と福祉②共に生きる③社会規範の考え方	2	
	7 ホームプロジェクト ・定期考査		7 ①家庭生活や地域生活と関連づけた課題の設定②科学的探求と問題解決	2	
後期	8 食生活を作る	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート DVD 裁縫セット 保育人形 ワークシート 	8 ①食生活について考える②食事と栄養・食品③食生活の安全と衛生④生涯の健康を見通した食事計画⑤調理の基礎⑥これからの食生活	17	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 ワークシート 実習作品 定期考査
	9 経済生活を営む		9 ①職業生活を設計する②計画的に使う③国民経済、国際経済と家庭の経済生活④消費行動と意思決定⑤現代の消費生活⑥これからの消費生活と環境	7	
	10 住生活を作る		10 ①住生活について考える②住生活の計画と選択③これからの住生活	7	
	11 生活を設計する ・定期考査		11 ①生涯を見通す	2	

4 評価規準と評価方法

計70時間 (50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> 関心・意欲・態度…学習内容に関心を持ち、意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。 思考・判断・表現…課題を主体的に解決するために思考を深め、適切に判断し工夫する能力を身につけている。 技能…人の一生と家族、保育、衣食住生活などに関する基礎的、基本的な技術を総合的に身につけている。 知識・理解…人の一生と家族、保育、衣食住生活などに関する基礎的、基本的な知識を総合的に身につけている。 <p>※以上の観点をもとに、授業の取り組み(授業態度・実習の様子・学習活動への参加状況)、提出物(ワークシート・課題の提出)、定期テスト などから総合的に判断する。</p>
--

5 備考

<p>毎日の生活をより豊かに過ごすための知識、技術の習得を目指します。安全・衛生に留意し、自立した生活ができるように生活力を身につけていきましょう。</p>
--

教科(科目)	情報 (社会と情報)	単位数	2単位	学年(系列)	1学年 (必履修)
教科書	最新社会と情報 新訂版 (実教出版)	副教材	全商ビジネス文書実務検定問題集2級(実教出版) 全商情報処理検定問題集3級(実教出版)		
履修条件	特になし				

1 学習目標

2 指導の重点

<p>・コンピュータや情報通信ネットワークの活用を通して情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技術を習得させるとともに、情報を主体的に活用する態度を育てる。</p>	<p>・情報を正しく使う技術の修得。 ・情報を扱うための道具としてのコンピュータの利用技術の修得。 ・情報モラルを学び、ネットワーク社会の一員としての自覚を高める。</p>
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	第1章 情報社会と 私たち	教科書 副教材	第1節 情報社会	5	中間考査 期末考査 授業態度 出席状況 提出物
			第2節 情報とメディア	5	
			第3節 情報モラルと社会のルール	5	
	第2章 情報機器と デジタル		第1節 情報機器とデジタル	3	
			第2節 デジタル表現	2	
			第3章 表現と伝達	第1節 表現の工夫	
	第2節 表計算ソフトの利用			5	
	第3節 プレゼンテーション			5	
	後期		第4章 コミュニケーションと ネットワーク	教科書 副教材	
第2節 ネットワーク		5			
第3節 情報セキュリティ		5			
第5章 情報社会と 問題解決		第1節 情報システムと人間	7		
		第2節 問題解決	7		
		第3節 情報発信	6		

計 70 時間 (50 分授業)

4 評価規準

<p>・関心・意欲・態度 … 情報の特徴と情報化社会に関心をもち、適切に情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために情報技術を活用しようとしている。</p> <p>・知識・理解 … 問題を解決するために、情報の特徴と情報化社会について、思考を深め、適切に判断し表現している。</p> <p>・技能 … 情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている。</p> <p>・思考・判断・表現 … 情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。</p>

5 備考

特記事項なし

教科 (科目)	総合 (産業社会と人間)	単位数	2単位	学年	1学年 (必履修)
準教科書	あすへの進路をひらく 新版 産業社会と人間 (実教出版株式会社)	副教材	なし		
履修条件	特になし				

<p>1 学習目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業社会における自己の在り方生き方について考えさせ、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、生徒自身が主体的に各教科・科目を選択できるようにする。 	<p>2 指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい 勤労観、職業観や態度を育成する。 我が国や新潟県の産業の発展とそれがもたらした社会の変化について考察する。 自己の将来の生き方や進路についての考察及び系列や教科・科目の選択が主体的に進められるようにする。
---	--

3 指導計画

学期	単元名	教材	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
前期	意識啓発	プリント・ワークシート	<ul style="list-style-type: none"> 充実した高校生活を送れるよう、意識啓発を行う。 	6	授業の取組状況、報告書 (レポート) の提出状況、ワークシートの提出状況
	系列別の系列説明	系列別の説明プリント	<ul style="list-style-type: none"> 系列及び教科・科目選択が主体的に進められるよう、その内容等について説明・理解をする。 	6	
	「地域の産業を知る」講演会	ワークシート (職業と自己の適性と職業の種類とその特徴を調べる)	<ul style="list-style-type: none"> 職業と自己の適性について考察させる。 地域の産業を知る。 自己の進路と生き方について考えさせる。 職業の種類特徴を理解させ、生徒に調べさせる。 	6	
	職業と生活	適性検査 (職業レディネステスト)	<ul style="list-style-type: none"> 調べた内容を報告書 (レポート) にまとめさせる。 企業見学、適性検査 (職業レディネステスト)、進路ガイダンス等の実施によって意識を啓発する。 	10	
後期	系列別の授業	系列別の授業補足プリント	<ul style="list-style-type: none"> 各系列に分かれ、今後行われる授業と同等の内容で学習する。(系列により内容は異なる。) 	12	授業の取組状況、報告書 (レポート) の提出状況、ワークシートの提出状況、プレゼンテーションのまとめと発表方法
	わが国の産業の発展と社会の変化	ワークシート (各種産業と新潟県の産業について調べる。)	<ul style="list-style-type: none"> 産業の発展と社会の変化について学習させる。 わが国の各種産業の発展と現状について学習させる。 新潟県の産業や求人傾向について学習させる。 	5	
	年間報告会	「学習活動のまとめ」	<ul style="list-style-type: none"> 調べた内容を報告書 (レポート) にまとめさせる。 職業生活と法律について学習させる。 学習した内容や職業について調べた内容をまとめ発表させる。 	6	
				8	

4 評価規準 計70時間 (50分授業)

<ul style="list-style-type: none"> 関心・意欲・態度 …… 授業や企業見学・進路ガイダンスなどに積極的に取り組み、得た情報を生かしながら将来設計を主体的に行う態度を養っている。 思考・判断・表現 …… 報告書 (レポート) ・ワークシートの設問に対して、的確に思考・判断ができる。また、発表会などで考えを分かりやすくまとめ、他者の意見を理解しながら、班員と協力して考察内容を発表ができる。 技能 …… 報告会においてプレゼンテーションソフトを使い、発表内容をまとめ、他者に分かりやすく説明できる。 知識・理解 …… 各系列で学習した内容や報告書 (レポート) にまとめた内容について、課題を発見する力を養い、問題解決方法を模索できる。
--

5 備考

<ul style="list-style-type: none"> 原則履修科目 この科目を通じて、今までの自分を理解し、現在の産業社会に関心を持ちながら、自分と社会のつながりを考えること。
--